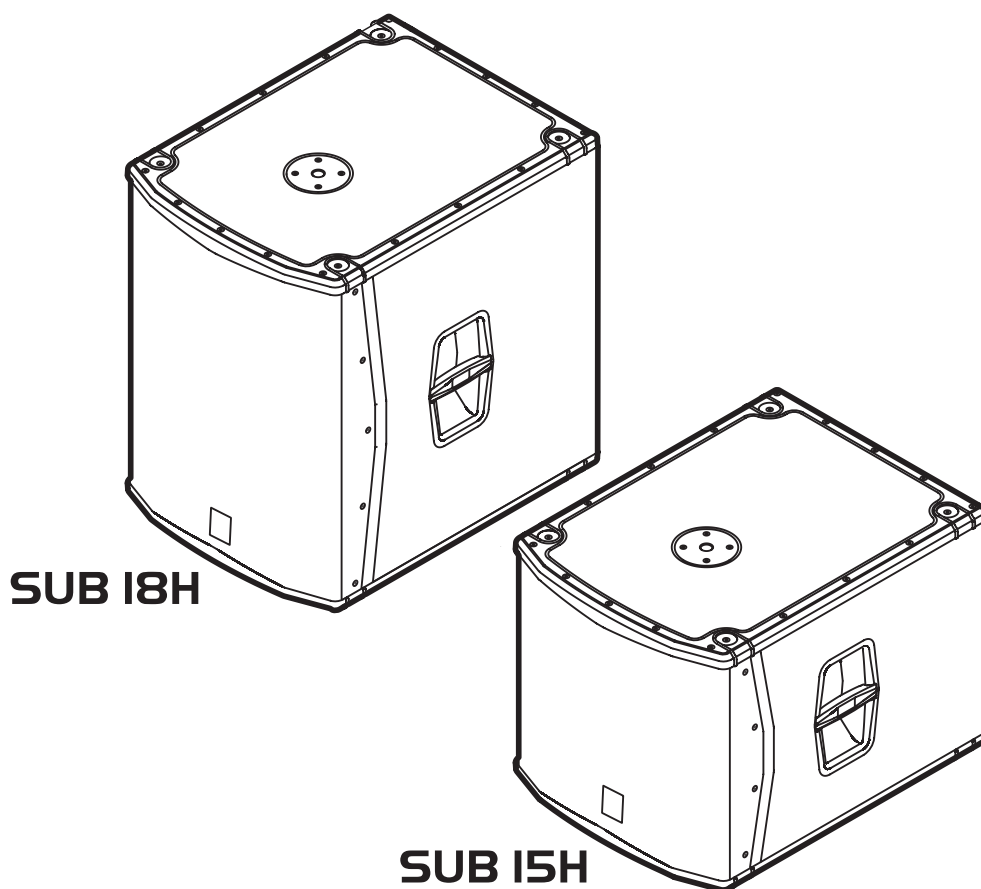


# SUB H シリーズ

## SUB 15H / SUB 18H







### アクティブ サブウーファー

#### 取扱説明書









## 安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。

	<p><b>警告</b> 以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。</p>
 <p>電源プラグをコンセントから抜く</p>	<p><b>万一、異常が起きたら</b>  <b>煙が出た、変なおいや音がするときは</b>  <b>機器の内部に異物や水などが入ったときは</b>  <b>この機器を落とした、カバーを破損したときは</b>          すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。          異常状態のまま使用すると、火災/感電の原因となります。          販売店またはティアック 修理 センター (巻末に記載) に修理をご依頼ください。          万一、煙が出ていたり、変なおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。          すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。          煙が出なくなるのを確認して、販売店まで修理をご依頼下さい。</p>
 <p>指示</p>	<p><b>電源プラグにほこりをためない</b>          電源プラグとコンセントの周りにゴミやほこりが付着すると、火災/感電の原因となります。          定期的(年1回くらい)に電源 プラグを抜いて、乾いた布でゴミやほこりを取り除いてください。</p>
 <p>禁止</p>	<p><b>電源コードを傷つけない</b>  <b>電源コードの上に重い物を載せたり、コードを壁や棚との間に挟み込んだり、本機の下敷きにしない</b>  <b>電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、熱器具に近づけて加熱したりしない</b>          コードが傷んだまま使用すると火災/感電の原因となります。          万一、電源 コードが破損したら(芯線の露出、断線など)、販売店またはティアック 修理 センター (巻末に記載) に交換をご依頼ください。</p> <p><b>付属の電源コードを他の機器に使用しない</b>          故障、火災、感電の原因となります。</p> <p><b>交流100ボルト以外の電圧で使用しない</b>          この機器を使用できるのは日本国内のみです。          表示された電源電圧(交流 100 ボルト)以外の電圧で使用しないでください。          また、船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。          火災/感電の原因となります。</p> <p><b>この機器を設置する場合は、放熱をよくするために、壁や他の機器との間は少し(20cm以上)離して設置する隙間を空けないと内部に熱がこもり、火災の原因となります。</b></p> <p><b>この機器の通風孔をふさがない</b>          通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。</p> <p><b>この機器の隙間などから内部に金属類や燃えやすい物などを差し込む、または落とさない</b>          火災/感電の原因となります。</p>
 <p>禁止</p>	<p><b>機器の上に花瓶や水などが入った容器を置かない</b>          内部に水が入ると火災/感電の原因となります。</p>
 <p>分解禁止</p>	<p><b>この機器のカバーは絶対に外さない</b>          カバーを外す、または改造すると、火災/感電の原因となります。          内部の点検/修理は販売店またはティアック 修理 センター (巻末に記載) にご依頼ください。</p> <p><b>この機器を改造しない</b>          火災/感電の原因となります。</p>

## 安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。

	<p><b>注意</b> 以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。</p>
 <p>電源プラグをコンセントから抜く</p>	<p>移動させる場合は、電源のスイッチを切るか、またはスタンバイにし、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外す コードが傷つき、火災/感電の原因や、引っ掛けてけがの原因になることがあります。</p> <p>旅行などで長期間この機器を使用しないときやお手入れの際は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く通電状態の放置やお手入れは、漏電や感電の原因となることがあります。</p>
 <p>指示</p>	<p>オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明にしたがって接続する また、接続は指定のコードを使用する</p> <p>電源を入れる前には、音量を最小にする 突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となる場合があります。</p> <p>この機器はコンセントの近くに設置し、電源プラグは簡単に手が届くようにする 異常が起きた場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、完全に電源が切れるようにしてください。</p> <p>この機器には、付属の電源コードを使用する それ以外の物を使用すると、故障、火災、感電の原因となります。</p>
 <p>禁止</p>	<p>ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない 湿気やほこりの多い場所に置かない。風呂、シャワー室では使用しない 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たる場所に置かない 火災/感電やけがの原因となる場合があります。</p> <p>電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない コードが傷つき、火災/感電の原因となる場合があります。 必ずプラグを持って抜いてください。</p>
 <p>禁止</p>	<p>濡れた手で電源プラグを抜き差ししない 感電の原因となる場合があります。</p>
 <p>注意</p>	<p>5年に1度は、機器内部の掃除を販売店またはティアック 修理 センター (巻末に記載) にご相談ください。 内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となる場合があります。 特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については、ご相談ください。</p>

## 目次

安全にお使いいただくために.....	2
目次.....	4
はじめに.....	4
本製品の構成.....	4
本書の表記.....	4
設置上の注意.....	5
結露について.....	5
製品のお手入れ.....	5
ユーザー登録について.....	5
別売アクセサリ.....	5
アフターサービス.....	5
商標および著作権に関して.....	5
本機の概要.....	6
各部の名称.....	7
コントロールパネル.....	7
電源パネル.....	7
電源および外部機器との接続.....	8
電源と電源リンクの接続.....	8
オーディオ信号の接続例.....	9
SUBシリーズの設置例.....	9
取り扱いの注意.....	10
F/Wアップデート	
(USB Burner Managerソフトウェア).....	10
トラブルシューティング.....	10
仕様.....	11
一般.....	11
ブロックダイアグラム.....	12
寸法図.....	13

## はじめに

このたびは、dBTechnologies SUBシリーズをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しい取り扱い方法をご理解いただいた上で、未永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。お読みになったあとは、いつでも見られるところに保管してください。

また取扱説明書は、TASCAMのウェブサイト(<https://tascam.jp/jp/>)からダウンロードすることができます。

## 本製品の構成

本製品の構成は、以下の通りです。

なお、開梱は本体に損傷を与えないよう慎重に行ってください。梱装箱と梱包材は、後日輸送するときのために保管しておいてください。付属品が不足している場合や輸送中の損傷が見られる場合は、当社までご連絡ください。

### 同梱物

- 本体 × 1
- Neutrik社製 powerCON 電源コード × 1
- 取扱説明書(本書、保証書付き) × 1

## 本書の表記

本書では、以下のような表記を使います。

- 本機および外部機器のボタン／端子などを「**POWER**」のように太字で表記します。
- 本機のディスプレイに表示される文字を“**MAIN**”のように“\_”で使って表記します。

### ヒント

本機を、このように使うことができる、といったヒントを記載します。

### メモ

補足説明、特殊なケースの説明などを記載します。

### 注意

指示を守らないと、人がけがをしたり、機器が壊れたり、データが失われたりする可能性がある場合に記載します。

## 設置上の注意

- 本機の動作保証温度は、摂氏-5度～50度です。
- 次のような場所に設置しないでください。音質低下の原因、または故障の原因となります。
  - 暖房器具のそばなど極端に温度が高い場所
  - 極端に温度が低い場所
  - 湿気の多い場所や風通しが悪い場所。
- 放熱をよくするために、本機の上には物を置かないでください。
- 熱を発生する機器の上に本機を置かないでください。
- 本機の近くに大型トランスを持つ機器がある場合にハム（うなり）を誘導することがあります。この場合は、この機器との間隔や方向を変えてください。
- テレビやラジオの近くで本機を動作させると、テレビ画面に色むらが出る、またはラジオからの雑音が出る場合があります。この場合は、本機を遠ざけて使用してください。
- 携帯電話などの無線機器を本機の近くで使用すると、着信時や発進時、通話時に本機から雑音が出る場合があります。この場合は、それらの機器を本機から遠ざけるか、もしくは電源を切ってください。

## 結露について

本機を寒い場所から暖かい場所へ移動したときや、寒い部屋を暖めた直後など、気温が急激に変化すると結露を生じることがあります。結露したときは、約1～2時間放置してから電源を入れてお使いください。

## 製品のお手入れ

製品の汚れは、柔らかい布でからぶきしてください。化学雑巾、ベンジン、シンナー、アルコールなどで拭かないでください。表面を傷める、または色落ちさせる原因となります。

## ユーザー登録について

TASCAMのウェブサイトにて、オンラインでのユーザー登録をお願いいたします。

<https://tascam.jp/jp/login>

## 別売アクセサリ

輸送や本体保護のために下記の別売アクセサリが、ご使用になれます。

- DWK20 ホイール（搬送用車輪 4個セット）
- DS2 ポールマウント（スピーカーポール）
- DS2-S ミニポール（スピーカー取り付けアダプター）
- TC S15H カバー（SUB 15H用保護カバー）
- TC S18H カバー（SUB 18H用保護カバー）
- AFL 05（電源LINK用ケーブル）  
（Neutrik社製 powerCON LINK ケーブル1.5m）

## アフターサービス

- この製品には、保証書が添付（巻末に記載）されています。大切に保管してください。万が一販売店印の捺印やご購入日の記載が無い場合は、無料修理保証の対象外になりますので、ご購入時のレシートなどご購入店/ご購入日が確認できるものを一緒に保管してください。
  - 保証期間はご購入日より1年です。保証期間中は、保証書に記載の無料修理規定によりティアック修理センター（巻末に記載）が無料修理致します。その他の詳細については、保証書をご参照ください。
  - 保証期間経過後、または保証書を提示されない場合の修理については、ご購入の販売店またはティアック修理センター（巻末に記載）にご相談ください。修理によって機能を維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
  - 万一、故障が発生した場合は使用を中止し、ご購入の販売店またはティアック修理センター（巻末に記載）までご連絡ください。
  - 修理を依頼される場合は、次の内容をお知らせください。なお、本機の故障、もしくは不具合により発生した付随的損害（録音内容などの補償）の責については、ご容赦ください。
    - 型名、型番 （SUB xxx）\*
    - 製造番号 （Serial No.）
    - 故障の症状 （できるだけ詳しく）
    - お買い上げ年月日
    - お買い上げ販売店名
  - お問い合わせ先については、巻末をご参照ください。
  - 本機を廃棄する場合に必要となる収集費などの費用は、お客様のご負担になります。
- \* ご使用中の[SUB 15H/SUB 18H] いずれかの型名をお知らせください。

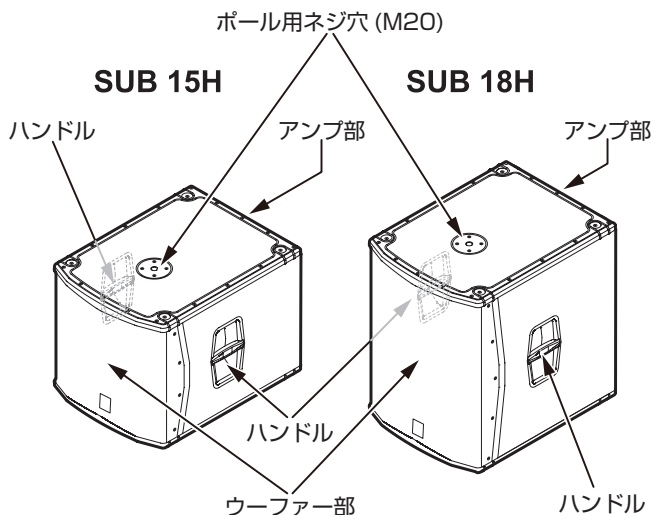
## 商標および著作権に関して

- TASCAMおよびタスカムは、ティアック株式会社の登録商標です。
- Speakonは、Neutrik AGの登録商標です。
- DigiproはAEB INDUSTRIALE SRLの商標です。
- dBTechnologiesはA.E.B Industriale SRLのそれぞれの国における商標または登録商標です。
- その他、記載されている会社名、製品名、ロゴマークは各社の商標または登録商標です。

## 本機の概要

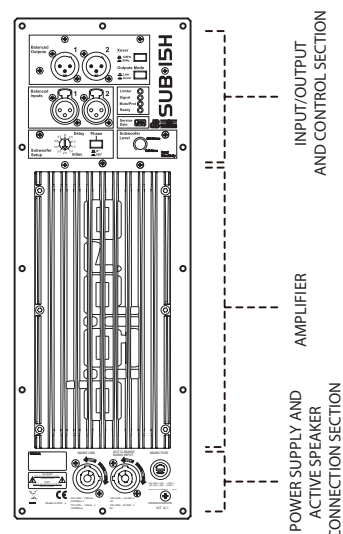
dBTechnologies SUBシリーズは、Digipro G3アンプ(クラスD)を搭載したアクティブ サブウーファーです。

- 軽量のキャビネットには、PVCコーティングされた積層材(パーティ材)と強化ポリプロピレン製のパーツで構成され、dBTechnologies社によるハイブリッド エンクロージャー テクノロジー (HET)を採用しています。
- デジタル プリアンプ部にはDSPを搭載し、クロスオーバー周波数、周波数特性、リミッター、フェーズ切替など様々なコントロールが可能です。
- SUBシリーズは、中規模から大規模な部屋に最適なアクティブサブウーファーで、ハーフ ホーン ロード方式を採用することでコンパクトなサイズにも関わらず、大きな音圧を達成しました。また、設置や輸送時などの取り扱いが容易なよう、以下の特徴を備えています。
  - 持ち易いように両サイドのハンドル
  - 標準ポール用ネジ穴 (M20)
  - サブウーファーのトップ部に段積み用の窪み
  - 搬送用に別売りのDWK20 ホイールを取り付け可能



- このアクティブサブウーファーは、ステレオモードまたはモノラルモードで使用が可能です。クロスオーバー周波数切替(90Hzまたは120Hz)およびフェーズ切替(0度または180度)が設定可能です。出力信号は、入力信号のダイレクト出力かクロスオーバー周波数出力の選択が可能です。更に、組み合わせるスピーカーとの位置関係によっては、サブウーファーから再生される音を遅らせることができるディレイ調整も可能です。
- アンプ部の熱はスピーカー背面のアルミパネルによって放熱されます。また、アンプ内部の温度をモニターし、音量を制限するなどしてオーバーヒートの危険を回避する保護回路を搭載しています。
- F/Wアップデート用の専用USB端子も備えています。アップデート方法は、10 ページの「F/Wアップデート (USB Burner Managerソフトウェア)」を参照してください。

- SUB H15およびSUB H18のアンプ部は、クラスDのDigipro G3アンプを搭載し、SUB H15でRMS出力[700W]、SUB H18でRMS出力[1000W]の出力が可能です。また、電圧自動切り替え機能を備えたスイッチング電源により、冷却ファンを廃した静かなシステムを実現しています。また、高効率アンプモジュールを採用することで、軽量でコンパクトなキャビネットから大きな出力を実現しています。

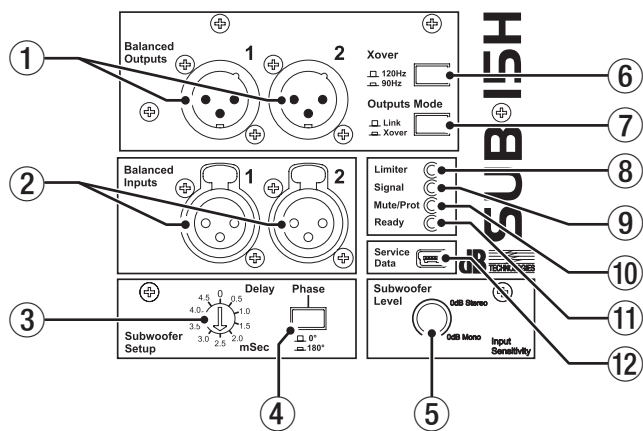


### 注意

- スピーカーを濡らさないでください
- アンプ部は、決して開けないでください。火災/感電や機器が壊れたりする原因となります。
- ケーブルの接続/取り外しは必ず、電源を切って電源コードを全て外した状態で行ってください。
- 不具合や音質劣化を防ぐために、ダメージを受けたケーブルは新しいものと交換してください。

## 各部の名称

### コントロールパネル



#### ① Balanced Outputs 1-2

バランス出力1とバランス出力2 端子  
XLR端子による他のアンプ内蔵スピーカーにバランス信号を送出します。送出する信号は、**Output Mode (7)**スイッチにより選択可能です。

#### ② Balanced Inputs 1-2

バランス入力1とバランス入力2 端子  
XLR端子によるラインレベルのバランス信号入力が可能です。  
\* 電源を入れる前には、音源側の機器の音量を最小にして下さい。

#### ③ Subwoofer Setup

ディレイ調整  
サブウーファーから再生される音のディレイ値を調整します。スピーカーとサブウーファーとの位置関係によって発生する音のズレを調整します。  
また、強い指向性を持たせたい場合に2~3台のサブウーファーを同時に使うことにより、直接サブウーファー正面の広がる音を、変えることなく背面に回り込む低域を大幅に減衰することが可能です。  
(10 ページの「ディレイ補正」を参照)

#### ④ Phase

フェーズスイッチ (OFF : 0° / ON : 180°)  
サブウーハーのフェーズを0度または180度反転する場合に選択するスイッチです。

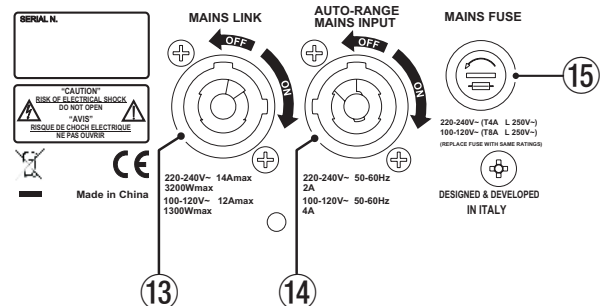
#### ⑤ Subwoofer Level

入力感度調整ボリューム  
SUBシリーズのアンプ部に入力する信号の感度を調整します。  
**Balanced Outputs 1-2 (1)**の端子から出力される信号レベルには影響しません。

#### ⑥ Xover

クロスオーバースイッチ (OFF : 120Hz / ON : 90Hz)  
**Balanced Outputs 1-2 (1)**端子に接続された中高域用スピーカーとのクロスオーバー周波数を選択できます。  
クロスオーバー周波数は、組み合わせる中高域スピーカーによって異なり、12インチコーンを使用しているスピーカーの場合は、[120Hz]を15インチコーンの場合は、[90Hz]を選択してください。

### 電源パネル



#### ⑦ Outputs Mode

出力モードスイッチ (OFF : Link / ON : Xover)  
**Balanced Outputs 1-2 (1)**端子の出力モードを切り替えるスイッチで、**Link**ポジションでは、入力された信号と同じ信号を出力し、**Xover**ポジションでは、選択されたクロスオーバー周波数に合った信号が出力されます。

#### ⑧ Limiter

Limiter LED (赤色)  
内部リミッターが作動した場合に点灯します。  
これは、アンプ回路が信号の歪みを防ぎ、ウーハーユニットが過負荷になるのを防ぎます。

#### 注意

Limiter LEDが連続して点灯した状態は、入力信号の歪み音を伴う、過度の負荷がかかっている状態を示しています。そのままの状態、長時間連続使用しないでください。その場合、機器が壊れたりする原因となります。

#### ⑨ Signal

Signal LED (緑色)  
-20dB以下のオーディオ信号が入力されている時に点灯します。

#### ⑩ Mute/Prot

Mute/Prot LED (黄色)  
アンプ内部の温度をモニターし、正常な状態で動作している時は消灯しています。  
オーバーヒートの保護回路が作動した場合、Mute/Prot LED(黄色)が点滅することで知らせます。適正な内部温度になってから、音量と全ての機能は元通りに復帰します。

#### ⑪ Ready

Ready LED (緑色)  
電源投入時や、正常に状態で動作している時に点灯/点滅します。電源投入時の自己診断プログラムにより約2秒間点灯することで、電源投入時の初期化プロセスが正しく行われていることを確認でき、このプロセスが完了すると点灯します。  
通常の動作時は、再生中のオーディオレベルを示すVUメーターとして機能します。

## ⑫ Service Data

サービスデータ端子 (Mini USB Bタイプ)  
SUBシリーズのF/Wをアップデートする際、使用します。  
ダウンロード方法は、10 ページの「F/Wアップデート  
(USB Burner Managerソフトウェア)」を参照してください。

## ⑬ MAINS LINK

電源リンク端子 (Neutrik社製 powerCON端子 グレー)  
他のアクティブスピーカーなどに電源を供給する端子で、**AUTO-RENGE MAINS INPUT** (⑭)端子とは、並列接続になっています。  
ご使用時は、専用のNeutrik 社製 powerCON LINKケーブルをお使いください。

### 注意

- 上記以外の方法で、他のアクティブスピーカーなどに電源供給を絶対に行わないでください。その場合、感電および機器を破損する恐れがあります。
- Neutrik 社製のケーブルについては、タスカム カスタマーサポート(巻末に記載)にご相談ください。
- MAINS LINK**(電源Link 端子)の最大供給電流は、下記の表に記述してある許容範囲まで、スピーカーを接続することができます。

	MAINS LINK端子の最大供給電流 (100-120V時)
SUB 15H	max 12A/1300W
SUB 18H	

## ⑭ AUTO-RENGE MAINS INPUT

AC電源 端子 (Neutrik社製 powerCON端子 ブルー)  
付属のNeutrik社製 powerCON 電源コードを接続します。

### 注意

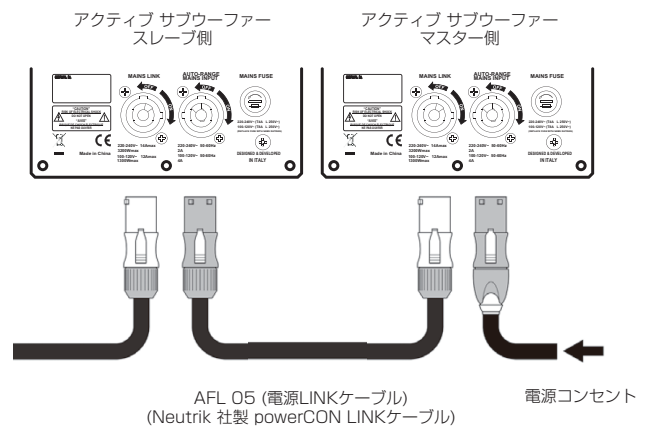
- ケーブルの接続や取り外しは、必ず電源を切って電源コードを全て外した状態で行ってください。
- 不具合や音質劣化を防ぐために、ダメージを受けたケーブルは新しいものと交換してください。

## ⑮ MAINS FUSE

フューズホルダー  
万一、動作しなくなった場合は、電源コードを抜いてティアック修理センター (巻末に記載)にご相談ください。

## 電源および外部機器との接続

### 電源と電源リンクの接続



### 電源の接続

付属のNeutrik社製 powerCON 電源コードを**AUTO-RENGE MAINS INPUT**(AC電源 端子) に接続し、時計回りに端子を回転させてロックしてください。ロックされると電源が入ります。また、電源を落とす場合は、逆の手順で取り外してください。

### 電源リンクの接続

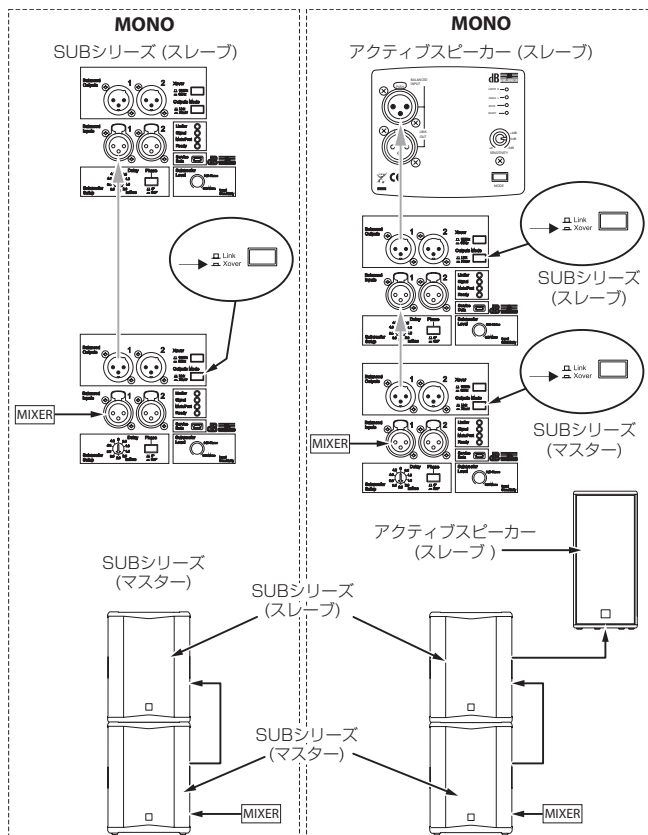
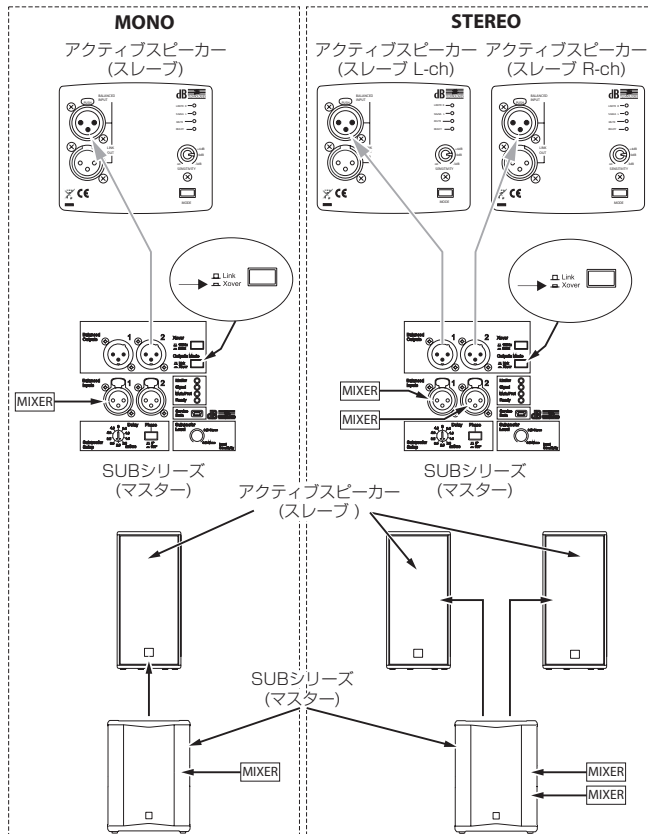
Neutrik 社製 powerCON LINK 端子は、マスター側からスレープ側に専用の電源LINKケーブルを使って、複数の同一機種に電源供給することができます。  
この接続を行うには、まず付属のNeutrik社製powerCON 電源コードを使って、マスター側のSUBシリーズをコンセントに接続した後、別売りのAFL 05(Neutrik社製 powerCON LINKケーブル)を使って、マスター側のMAINS LINK(電源Link 端子)とスレープ側のAUTORENGEMAINS INPUT(AC電源 端子)に接続します。  
この接続を繰り返して、マスター側のMAINS LINK(電源Link 端子)の下側に記載された最大供給電流に達するまでスピーカーを接続することが可能です。

### 注意

- 濡れた手または、機器や電源コードが濡れた状態で、絶対に電源コードの接続や取り外しをしないでください。感電および機器を破損する恐れがあります。

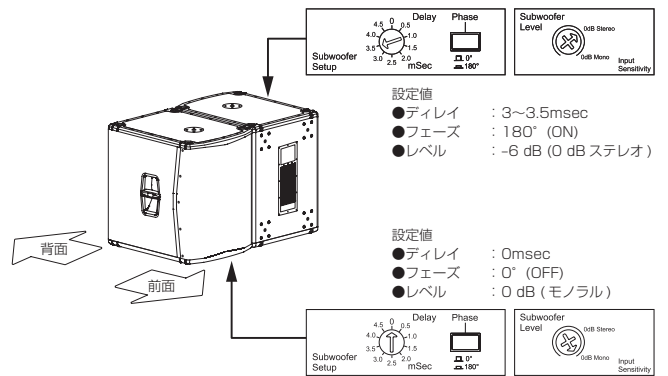


## オーディオ信号の接続例

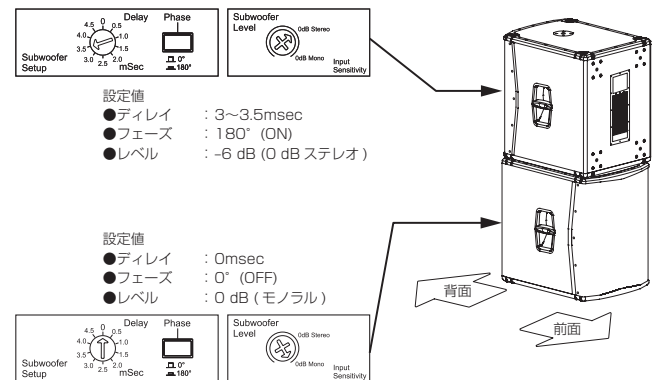


## SUBシリーズの設置例

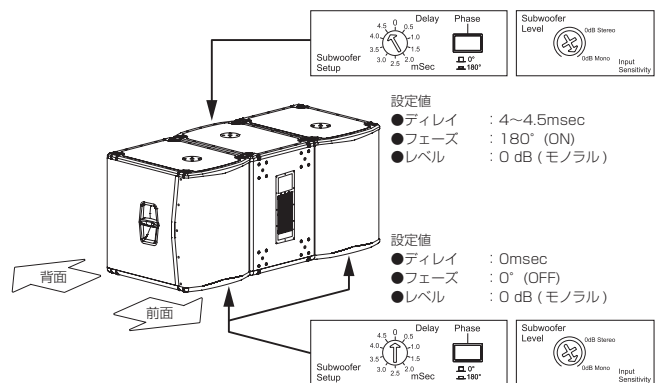
### 2台によるカーディオイド(単一指向性)横並び構成



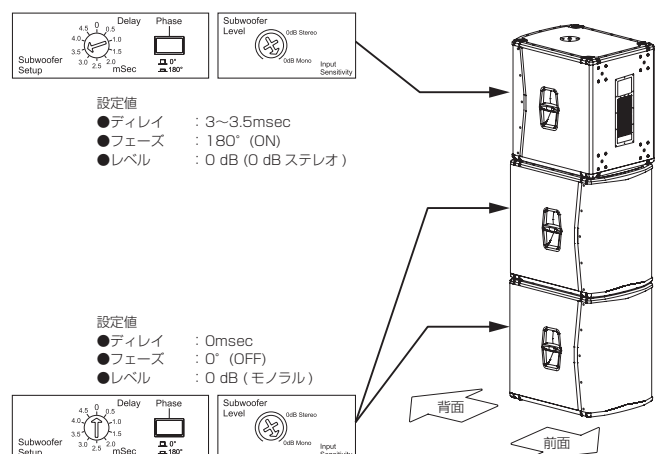
### 2台によるカーディオイド(単一指向性)縦積み構成



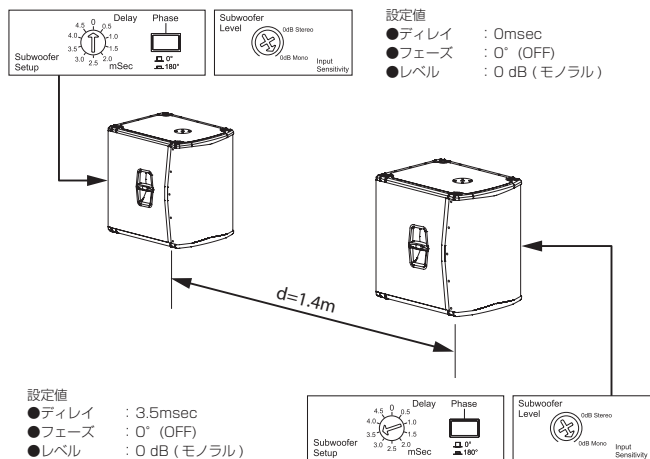
### 3台によるカーディオイド(単一指向性)横並び構成



### 3台によるカーディオイド(単一指向性)縦積み構成

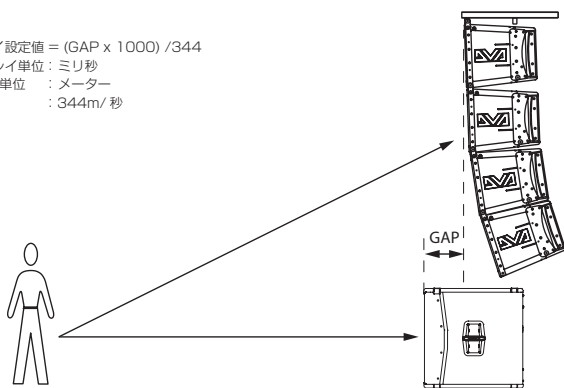


## エンドファイヤー構成



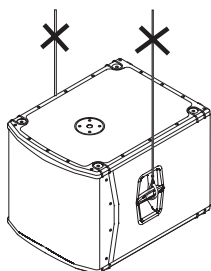
## ディレイ補正

ディレイ設定値 = (GAP x 1000) / 344  
 ●ディレイ単位 : ミリ秒  
 ●GAP単位 : メーター  
 ●音速 : 344m/秒



## 取り扱いの注意

- SUBシリーズは、必ず安定した場所に確実に設置してください。人や機材にダメージを与える場合があります。
- 屋外で使用する場合は、悪天候に影響される場所に設置しないでください。
- 安全上の理由により、適切な固定器具を用いることなく他のスピーカーなどの上に設置しないでください。
- 2台以上のSUBシリーズを段積みする場合は、ストラップやロープなど確実な方法で、床または構造体に固定してください。また、運搬時には本体のハンドル部を持って運搬してください。
- 設置完了時や使用前には、左右のハンドル部を掴んで、設置の安定性を確認してください。
- 固定用の器具は、適切で目的に沿ったものであることを確認してください。
- 下図のように本体のハンドル部を吊り下げ用途に使用しないでください。機器を破損する恐れがあります。



## F/Wアップデート (USB Burner Manager ソフトウェア)

本機の全ての機能を確実に使うためには、F/Wを常に最新のものにしておくことをお勧めします。

定期的にdBTechnologiesのウェブサイトのダウンロードページをチェックしてください。F/Wの更新が合った場合は、以下の手順でアップデートすることができます。

### ● ダウンロードページ

<http://www.dbtechnologies.com/en/downloads.aspx>

1. 上記のDownloadページから"Software & Controller"を開いて、[USB BURNER MANAGER]ソフトウェアをダウンロードし、表示される手順に従ってインストールしてください。
2. 上記のDownloadページから"SUB Series"を開いて、上段の"Firmware"の列と対象となるSUB機種種の行から、最新のF/W (zip形式) をダウンロードしてください。  
ダウンロード後、解凍してください。
3. [USB BURNER MANAGER]ソフトウェアを起動し、画面右上から、"File Opening..."を選択してください。
4. 先程ダウンロードしたF/Wを選択してください。  
(お使いのシステムに最適かチェックします。)
5. UPDATEをクリックし、アップデート作業をスタートしてください。

## トラブルシューティング

本機の動作がおかしいときは、修理を依頼する前にもう一度、下記の点検を行ってください。それでも改善しないときは、お買い上げ店またはティアック修理センターにご連絡ください。

### Mute/Prot LED (黄色)が点灯した場合

SUBシリーズに不具合が発生した場合、Mute/Prot LED (黄色)が点灯し、音量がミュートします。

その場合、以下の項目をチェックしてください。

- 本機が正しく電源に接続されているか確認してください。
- 電源から適切な電圧が、供給されているか確認してください。
- アンプ部が過熱していないか確認してください。
- SUB Hの電源コードを抜いて数分待ち、再び接続してください。

これらのチェックをした後も、Mute/Prot LED (黄色)が消えない場合、タスカム カスタマーサポート(巻末に記載)にお問い合わせください。

## 仕様

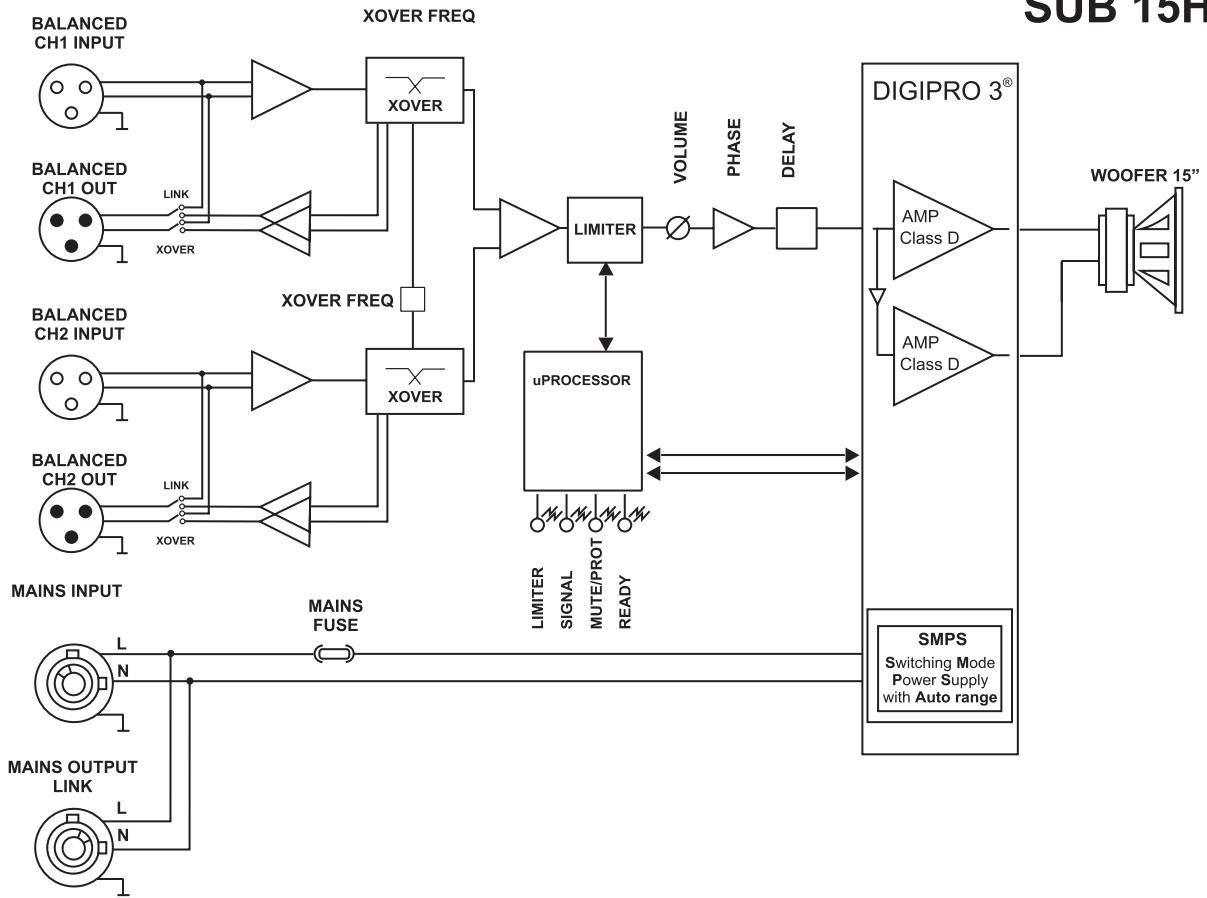
	SUB 15H	SUB 18H
<b>形式</b>		
スピーカータイプ	アクティブ サブウーハー	アクティブ サブウーハー
使用ユニット	15インチ (3インチ ボイスコイル)×1	18インチ (4インチ ボイスコイル)×1
<b>アンプ部</b>		
形式	Digipro G3クラスD	Digipro G3クラスD
RMS出力	700W	1000W
<b>周波数特性</b>	40~120Hz (-6dB) 35~150Hz (-10dB)	35~120Hz (-6dB) 28~150Hz (-10dB)
<b>クロスオーバー周波数</b>	90Hz /120Hz (切替式、24dB/oct)	90Hz /120Hz (切替式、24dB/oct)
<b>最大SPL</b>	133dB (max)	134dB (max)
<b>入力感度</b>	最大0 dBu	最大0 dBu
<b>入力インピーダンス</b>	20k $\Omega$ (バランス) 10k $\Omega$ (アンバランス)	20k $\Omega$ (バランス) 10k $\Omega$ (アンバランス)
<b>外部入力</b>		
Balanced Inputs 1-2	XLR端子×2 (バランス)	XLR端子×2 (バランス)
USB端子	mini-Bタイプ×1	mini-Bタイプ×1
<b>外部出力</b>		
Balanced Outputs 1-2	XLR端子×2 (バランス)	XLR端子×2 (バランス)
電源Link端子	Neutrik社製 powerCON端子×1 (グレー)	Neutrik社製 powerCON端子×1 (グレー)

## 一般

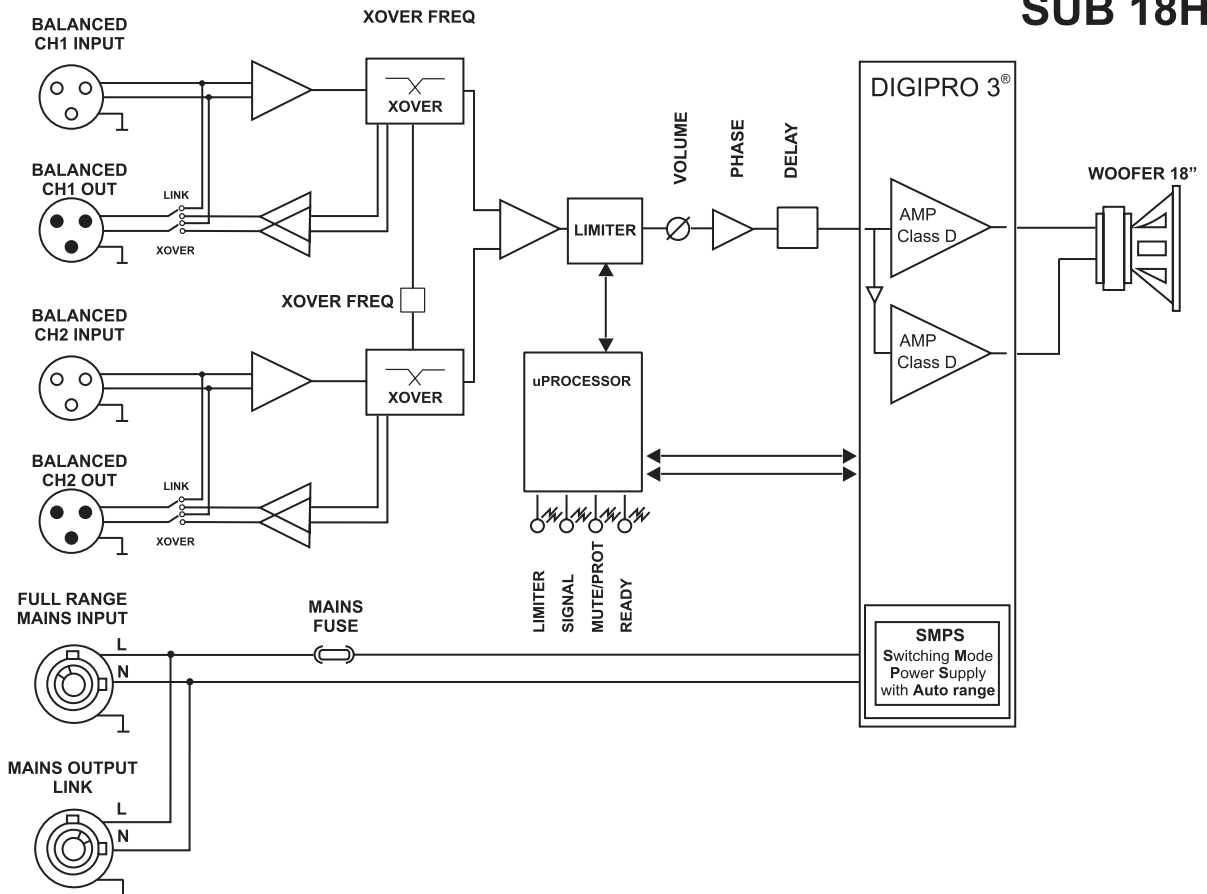
	SUB 15H	SUB 18H
<b>電源</b>		
電圧	AC 100~240V(自動切替式)、50/60Hz	AC 100~240V(自動切替式)、50/60Hz
電源端子	Neutrik社製 powerCON端子 (ブルー)	Neutrik社製 powerCON端子 (ブルー)
<b>注意</b>	日本国内においては、AC100Vのみ動作保証となります。(それ以外の電圧で、使用しないでください。)	
<b>消費電力</b>		
(100-120V時)	400W (MAX)	700W (MAX)
<b>外形寸法</b>		
幅×高さ×奥行き (突起部を含まず)	524×511×695 mm	524×711×695 mm
<b>質量</b>	31.5kg	41.4kg
<b>動作温度</b>	-5 ~ +50℃	-5 ~ +50℃

# ブロックダイアグラム

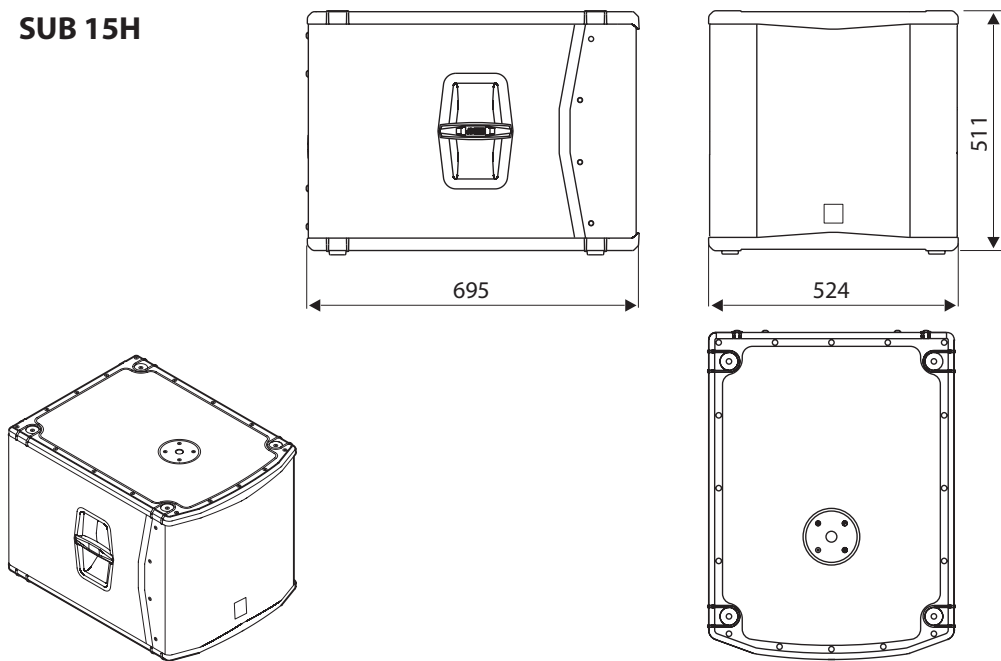
## SUB 15H



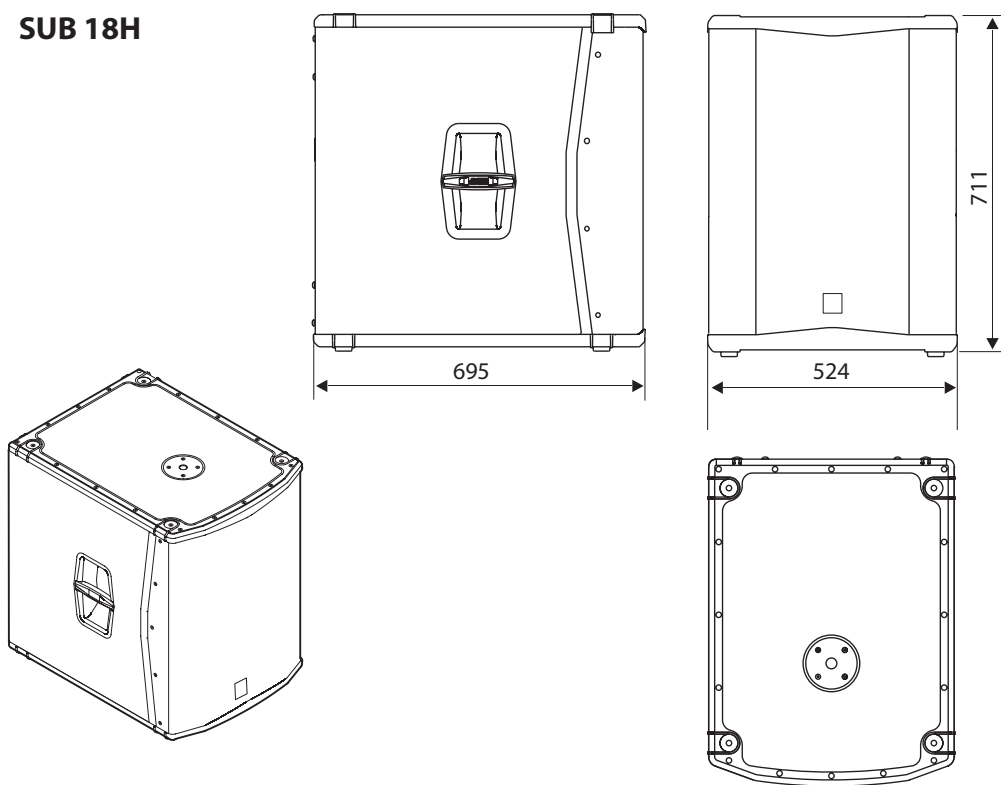
## SUB 18H



**SUB 15H**



**SUB 18H**



- 取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。
- 製品の改善により、仕様および外観が予告なく変更することがあります。





### 無料修理規定(持ち込み修理)

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で保証期間内に故障が発生した場合には、ティアック修理センターが無料修理致します。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、本書をご提示の上、ティアック修理センターまたはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。商品を送付していただく場合の送付方法については、事前にティアック修理センターにお問い合わせください。  
無償修理の対象は、お客さまが日本国内において購入された日本国内向け当社製品に限定されます。
3. ご転居、ご贈答品などでお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合は、ティアック修理センターにご連絡ください。
4. 次の場合には、保証期間内でも有償修理となります。
  - (1)ご使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
  - (2)お買い上げ後の輸送/移動/落下などによる故障および損傷
  - (3)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷
  - (4)接続しているほかの機器に起因する故障および損傷
  - (5)業務上の長時間使用など、特に苛酷な条件下において使用された場合の故障および損傷

(6)メンテナンス

(7)本書の提示がない場合

(8)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名(印)の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合

5. 本書は日本国内においてのみ有効です。  
These warranty provisions in Japanese are valid only in Japan.
6. 本書は再発行致しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

※ この保証書は、本書に明示した期間/条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行しているもの(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、ティアック修理センターにお問い合わせください。



# ティアック株式会社

〒206-8530 東京都多摩市落合1-47

この製品の取り扱いなどに関するお問い合わせは

タスカム カスタマーサポート 〒206-8530 東京都多摩市落合1-47



## 0570-000-809

市内通話料でOK  
ナビダイヤル 一般電話/公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

受付時間は、10:00～12:00 / 13:00～17:00 です。(土・日・祝日・弊社指定休日を除く)

● ナビダイヤルがご利用いただけない場合

電話: 042-356-9137 / FAX: 042-356-9185

故障/修理や保守についてのお問い合わせは

ティアック修理センター 〒358-0026 埼玉県入間市小谷田858



## 0570-000-501

市内通話料でOK  
ナビダイヤル 一般電話/公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

受付時間は、9:30～17:00です。(土・日・祝日・弊社指定休日を除く)

● ナビダイヤルがご利用いただけない場合

電話: 04-2901-1033 / FAX: 04-2901-1036

■ 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

Printed in Japan

## 保証書

品名 および 形名	dBTechnologies SUB 15H / SUB 18H	
機番		
保証期間	本体	1年
お買い上げ日	年	月
お客様	お名前	見本
	ご住所	

この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から左記の期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示の上、取扱説明書に記載のティアック修理センターまたはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

販売店	見本
電話	( )

お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

## ティアック株式会社

〒206-8530 東京都多摩市落合1-47

ティアック修理センター

〒358-0026 埼玉県入間市小谷田858

電話：0570-000-501(ナビダイヤル) / 04-2901-1033